十五日夕刊
磐城時報
福島縣石城郡平紺屋町十四町
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷　福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　磐城活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行七四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

木炭生産者に倒産者續出
材料が高いのに反し炭價が安いため

濱三郡木炭同業組合に於ける去る四月以降十二月迄の生産木炭數量は百十三萬四千二百二俵で內石城五十萬九千六百七十六俵双葉四十四萬六千四百五十九俵相馬十七萬八千六十七俵で官行製炭數は十六萬九千百八十八俵である。而して之等資材拂下げの約九割は國有林であるが、各營林署よりの拂下げ標準價格は採算し得ぬ高價なるに反し現在の需要期に於ける市場の安値保合の爲め五千余名の各生産業者中には業態振はざる結果最近に至り倒産者の續出を見るに至り斯くして農村唯一の副業たる木炭業は益々萎微沈衰の傾嚮を生じて來たので、此の際何等かの對策を講ずべき必要に迫られ同業組合理事者間に於て自ら各方面に向ひ之が難況の切拔け策運動中である。

十萬圓で鐵橋架替

常磐線平、草野間夏川鐵橋延長三百八十尺は橋脚の腐朽と共に大形機關車の運轉には動搖甚だしく危險を伴ふに至つたので平驛保線區事務所では萬一を顧慮し絶えず調査をなしてゐたが、愈々明年度中に之が改修工事を施す事に決定し既に測量を終つたが大体工費の見積り十萬圓を要する見込みである。

財界不況で稅金滯納
行衛不明三十五名

平町役場に於て稅金の滯納者について調査したところ、行衛不明の滯納者が三十五名ある事が發見された。それは戶數割十八名、營業收益稅六名、雜種稅九名、家屋稅二名で何れも財界不況に祟られて夜逃げ同樣に轉住してしまつたもので平町町民の生活が極度に行きつまつてゐると見る事が出來るが之は表面的のもので、決して行き詰まつてゐるのではなく金融が逼迫してゐるだけの事である、行き詰まつてゐない證據には、平町の花柳界に於て正月の十日に費はれた金額は五萬圓と見積られてゐる程で皮肉な現象を見せてゐる。

▲小川江組合　小川江筋水利組合の通常總會は二十五日平町元石城郡役所に開き明年度豫算その他の打合せをなすと。

有意義であつた農事質疑大會

石城郡農會では最初の試みとして去る十三日高久村小學校に於て農事質疑大會を開き應答者として縣から伊藤、田中兩技師、神谷村農事試驗場から小塙技手、石城郡駐在神尾技師、石城郡養蠶同業組合成田技手、郡農會大山、鈴木兩技師出張し開催した。參集者約七十名で、凡ゆる質疑をなし午後五時閉會したが頗る有意義な試みであつたため今後各所で同樣の會合をなす方針であると。

▲四倉銀重役辭任　支拂猶豫中の石城郡四倉町株式會社四倉銀行取締役佐藤宇三郎氏は去月末日辭任したので、十四日付縣經由三土大藏大臣に辭任の届け出をなした。

大浦村で米共同販賣

大浦村農業倉庫では來る十五日午前十時から午後二時迄受檢米の共同販賣を行ふが、出品數二等米一俵、三等米四十六俵、四等米百一俵、五等米十俵、合計百五十八俵である。

取付洩の自轉車記號
十九日から取付

自轉車取締規則が改正され車体に記號番號をつける事になり平警察署では去る六日から取つけを行つたが、取付け洩れの車体は來る十九日から三日間平警察署に出頭し取付ねばその後に於て泥棒々々といふ聲を聞いては處罰される筈である。

品物を預つてそこぬ染物屋
平署に各方面から續々と說諭願

平町大町染物請負業鎌田善六方では各方面から反物、衣類その他の染物を引受けたまゝ之をかへさぬといふので平警察署に說諭願ひが頻々として入り込んでゐる事實報の如くであるが、最近では毎日かうした種類の書狀が二通乃至四通位舞ひ込み今日迄三百件位の多きに達してゐる十五日平署に書狀で願ひ出でたうになるのであると。

者は
茨城縣多賀郡松原町緣川貞子
宮城縣桃生郡十五濱村伊藤房子、石川縣石川郡美川町村餅健吉
の三名であるが、預けた品物は何れも五十個內外のものであり平署で鎌田善六を呼び出して調べた處、外交員が宿錢の抵當に預いて來たりして遂に返さぬやうである。

度量衡商組合設置

石城郡內度量衡商組合の創立總會は十九日午後一時から平警察署樓上に於て縣から增田檢定所長出席して開催、役員を選擧し規約を制定した。

鐵瓶で義弟を毆る

平町南町三十八町地飲食店佐々木金次郎(三八)は十三日午前一時頃泥酔して不和の間である義弟平町字三丁目飲食店石島吉太郎(三〇)方に至り口論の末鐵瓶で吉太郎を毆り全治二週間の重傷を負はせたので平署で取調中である。

湯本町の強盜は虛僞の申告
詰らぬ思ひやりから

昨報—十四日午前三時頃湯本町字石畑製米業松本政雄方に覆面の强盜押し入り、差し出した五十圓の金が不足だと稱したのでと虛僞の申告をしたものと判明した。

昨報—十四日午前三時頃湯本町でたもので、松本方では消防手に迷惑をかけては濟まぬと詰らぬ思ひやりから强盜に入られたと虛僞の申告をしたものと判明した。

二ヶ月間に一万六千圓
第一校兒童貯金

昨年白河に開催の縣下各小學校長會議に御大典記念事業として平第一、第二兩校より提案した兒童貯金は機宜を得たものとして滿堂の賛成を得たので、平第一校では昨年十一月一日より繼續事業として實行する事に成つたが、僅か二ヶ月目の十二月末日現在の貯金額を見るに貯金者は一人洩なく全員の一千六百九十八名でこの總額は驚く勿れ一萬六千〇二十八圓の巨額に達し富の差から徒らに兒童に一種のてゐる、今これを各學級別にすると、尋常一年が人員二百五十名に對しこの貯金額九百三十五名に對しこの貯金額九百三十九圓八十四錢、尋二が二百八十四名に對し二千七十一圓四十一錢、尋三は二百六十六名の一千八百六十五圓七十錢、尋四は二百二十三名に對する二千七百十八圓三十錢、尋五二百十八名の二千六百八十八圓九十四錢、尋六二百二十七名の人名に對し四千四百七十六圓九十七錢、高一百四十名七百四十一圓九十八錢高二八十五名の五百二十五圓十二錢で、貯金高の第一位を占めてゐるのは尋常六學年で一人平均一ヶ月二十圓に當つてゐるから、同校人員貯金平均額十圓より遙に倍額に昇つてゐるわけである、貯金方法は一人十錢以上を月二回に限定されてゐるのであるが、普通一ヶ月一圓內外が一番多數を占め多きは三圓乃至五圓、甚だしきは十圓なども中に見うけられる、これなどは父兄それ自身が堅實な預金方法により財產の安定維持を圖らうといふ樣な處から、斯く巨額の貯金をどし〳〵學校に委托するものも中にはあるらしいが大体に於て父兄の自覺から兒童將來の教育費に充當せしめ樣といふ本然性が大分頭を擡げてきた傾向も見受けられる、唯一面に於て弊害とも見れば見られるのは貧富の差から徒らに兒童に一種のヒガミ心が醸成せしめることゝ一校に於て金の多額を以て最も忌避し慎むべき兒童の虛榮心を高める事であるが、之等は双方共大いに考慮すべき性質のもので、學校當事者も徒らに金額の多きを以て奬勵の基調を作る事は兒童教育上將來由々しき結果の招來する事を充分研究し弊害を未然に防ぐことに先づ努めねばならぬものであらうとは一般識者間の語る處であるが、何れにしても僅か二ヶ月間に斯く巨額の貯金を產んだ事は時節柄誠に機宜の策であるとて父兄間に喜ばれてゐる。

驚いた!!
こうまで安いとは
平・加納活版所の印刷物

磐城セメント 今期増加
賣行良好で

磐城セメント會社は前期八十七萬一千九百樽の生産に對して六十三萬五十樽を販賣して六十三萬五千圓の利益を計上し此内より十五萬圓の銷却を控除して二分増配の八分配當を行つた、僅か三十五萬二千圓の利益に過ぎなかつた前々期に比し全く比較にならぬ程の良好な成績である之は勿論市價恢復の一面製造販賣が順調に行き更に金融方面の安定が社會整理の効果と相俟て經費の節約となつた爲めである然しそれでも尙ほ前期は安値契約が四割近くあつた關係上未だ充分なる成績をあげることができなかつた、即ち一樽當り平均利益を見ると僅に六十八錢足らずで之で三菱に對し支拂つて手數料三分五厘を加へても八十錢内外となつたが、夫れだけすでに安値契約を一掃したわけである、今期以前の成績は向上するはずである、ことに從來ときなり生産費がいちじるしく低下してゐるから同じ賣り値にしても樽當り利益は余程ちがふはずである、唯今期の製造販賣が果して何程に達するか不明であるが、少くとも九十萬樽當り利益を假りに一圓としても優に八十五萬圓の利益は期待されるから銷却を増加しても増配可能である。

窃盗少年 南町で豪遊

永戸村大字上永井生れ當時住所不定無職阿部德（十九）は十二日午後五時頃東京市小石川區久野町小仁田製菓店帳場の引出しから現金六十圓を盗み平町に來り十四日午後一時頃から平南町飲食店鶴屋方に登樓豪遊してゐる處を猪狩刑事に捕はれた。

賀狀片々
（二）　あきら生

新山町　半谷松湖氏

磐中卒業で醫師にして書畫に英でられ、私の手元の賀狀の内では目だつて能筆です。

□

高瀬勝男君の手刷りの木刷四度ずり、圖案といひ、特に掌に入つたものです。

□

田家朝　吳　猪瀬乙彥謹詠

八雲立つ
出雲八束の
小田の庵の
神代ながらに
清き今朝かな

海軍大佐、磐中第一期卒業生で、これだけは丁重にも角封筒でした。

□

田家朝　山部正勇

おほらけくならぶ積藥ふちふまへ聲々きほふあけのにはとり

季節御料理
鳥よせなべ類
天丼
仕出しは迅速配達致します
平町南町平館隣り
蒲燒　魚栄
電話四二四番

胃腸病
内科
十二指腸虫病
淋病
婦人病
皮膚病
專門
電話七〇一
平南町
松村病院

△共存ト共榮
△簡易ノ金融
△趣味ノ貯蓄
△誠意ト堅固
内郷△
リア所拔取ニ所ル至ル△
イサ下込申モデ時何△
スマリ藥ノ効害ズ△絶△

平町紺屋町
吉田眼科醫院
電話六八番

理髮器具化粧品一式
芳香園油店
平警察署前

痔の高級内服藥
「ダイサン錠」
平五山野邊藥局

診察無料
如何なる重患でも直ちに癒る三丁目の大谷へ御出下さい　院長博士敬白
大谷時計病院
電話一九番

内科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平五〇七番

耳鼻咽喉科專門
平町仲田町七一
新築移轉
場所
合津醫院
電話五九五番

治淋新劑
強アンチゴー
急性淋病、慢性淋病、消渴、膀胱炎等ニ用ヒテ偉大ノ卓効ヲ奏ス
平町一丁目（電話六四二番）
特約販賣店　大平屋藥店

外科專門
外科一般
内臓外科
花柳病科
診療科目
診療時間（午前八時より午後九時まで）（但し急患は此の限にあらず）
平町田町大通り（電話四二六番）
入院隨意
安齋外科醫院

三益玉炭のお奬め
◎無煙無臭デ火付ガ早ク、火持チ良ク、火力ガ強ク、日常ノにやきニハコンナ便利ナ品ハアリマセン。
◎ソレデ値段ハ大變オ安ク、木炭ノ三分ノ一デ充分間ニ合ヒマス。
◎ドンナニ喰はずきらいノ人デモ一度使ヘバ必ズ御氣ニ召スノガ此ノ玉炭ノ特長デス。
◎値段ハ壹箱金貳圓　個數ハ約八百個内外
◎御申越次第見本持參御覽ニ供シマスカラ御申越下サイ
平驛前
電話二三七
阿部石炭商店

外科專門
花柳病科
平町六丁目橋際
木村外科醫院
電話三〇九番

二葉印刷所
平町字仲町
電話七三四番

拜啓慮息正儀新潟高等學校在學中の處本日午前五時自宅に於て病死仕候間此段辱知諸氏に御通知申上候

追而明後十六日午後二時當町菩提院に於て葬儀相營み申し候

昭和四年一月十四日

平町南町
酒井國三郎
親戚總代　高岡唯一郎